

様式第2（第5条関係）

令和8年度・令和9年度期第2回犬山市青少年問題協議会及び

犬山市青少年センター運営協議会 会議録

1 会議の名称 犬山市青少年問題協議会及び犬山市青少年センター運営協議会

2 開催日時 令和8年8月20日(木)午前10時00分～午前11時30分

3 開催場所 犬山市役所 201 会議室

4 出席者

(1) 委員：石木和年、松本里美、織田剛、増田修治、古野敬介、田島奈生美、吉野龍、  
(7名／11名中)

事務局：〔文化推進課〕 阪下課長

〔青少年センター〕 梅村、森口

5 報告事項

(1) 第2回犬山市青少年健全育成市民会議役員会（織田委員）

6 研修会

「まちの保健室 第3の居場所 “みそら野”」について

講師：河村政徳氏 長岡美月氏

7 研修会の感想交換

8 傍聴人の数 0人

9 内容

(1) 会長あいさつ

時候のあいさつでは、「立秋」となるが、最近は時候のあいさつがあてはまらなくなってきた。仕事の関係で高校生の就職も担当している。9月16日が解禁日で、ある工科高校の卒業生が150人いて、2割が進学、残りの120人が就職希望。その120人に対して1700社3500人の募集がある。今日は研修会を予定しているので、より良い研修としたい。

(2) 研修会「まちの保健室 第3の居場所 “みそら野”」について

《研修内容の概要》

・「まちの保健室 第3の居場所 “みそら野”」を始めて、3年目になる。“まちの保健室”をはじめたきっかけとしては、30年前に高齢者福祉施設を始めて、入所している高齢者の皆さんが「家に帰りたい」「家族に会いたい」と言っていたが、それが叶わない社会状況で無力感を感じていた。その当時は地域の中で高齢者を支えていく環境ではなく、そのような高齢者の皆さんが地域の中で自分らしく生きていくための活動がしくて会社を設立した。この活動を通して、「孤立の予防」「つながりづくり」「情報取得」の必要性を強く感じた。そして、自分(河村氏)は中学時にいじめを受け、保健室に行くことで立ち直ることができた。そのような経緯で、まちの中にも保健室のような機能を持った、だれでも気軽に行くことができる場所を作りたいと、3年前に「まちの保健室 第3の居場所 “みそら野”」を作った。

・「まちの保健室 第3の居場所 “みそら野”」には、看護師、介護福祉士、ケアマネ、作業療法士などの資格を持った専門職がひとり是在勤している。高齢者や小中学生などが、ふらっと来ることが多い。何かをするわけでもなく、ただ来るだけの人もいる。不登校の子が来ても、利用者(施設を利用している人)は、「学校に行こう」などのことは全く言わない。世間話をしている。いろいろな人が利用をしてくれる。利用者は高齢者から子どもまで幅広い。小中学生が多い時は15人くらいが利用していることもある。利用者に対してのおもてなしはしていない。利用者が何か困っていることがあれば相談に乗っている。

・みそらの訪問者の事例紹介(保健室の先生として)

- ・不登校の小学1年生：箱庭療法を行った。その後、学校に行けるようになり、みそら野にも顔を出してくれる。
- ・不登校の子の保護者：子が不登校で仕事を辞めなければと考えていた。みそら野では月1回2時間の親の会をやっている。同じ立場で悩みを共有できる保護者の「話せる場」として活動しているので、悩みが軽くなったようだ。
- ・家にもどこにも居場所のない若者：家族関係が悪く、友だちもいない。みそら野に来るようになって、みそら野が”話しても良い場””居ても良い場”という安心感が持てるようになり、自己肯定感が固まって(高まって)きた。居場所ができ、目標が持て、就労移行支援につなげることができた。
- ・リアルな世界で話し相手が欲しい20代半ばの若者：複雑な家庭環境で、施設の中で育ち、ネットの中でしか話し相手がいなかった。そのネット社会(ゲームを通して)の人間関係に疲れ、みそら野に来た時は、全く話すことはなかった(場面緘黙)。はじめは何も話すこともなく来ていたが、安心感が持てるようになり職員に話しかけるようになった。信頼関係を築くことができ、笑顔も出てきた。その後、就労移行支援につなぐことができた。
- ・みそら野で大切にしていることは、安心して過ごせること。居場所として安心して過ごせる場所と今後も取り組んでいきたい。

### (3) 研修会の質疑と感想

- ・家庭、学校(職場)などの次にくる第3の居場所はすごく大切だと思う。みそら野に来れば、その人は居場所として次のステップに進むことが可能になる。そのためにみそら野に来ることができるハードルを下げる工夫が大切だと思う。
- ・調布市がやっている施設を視察したことがある。大人は入室禁止で、若者だけで運営している。そんな施設があって欲しい。最近、中学校の部活動も地域移行になってきた。また、他の地域活動も有料になってきている。経済格差によって、活動が限られてくる。
- ・居場所はたくさんあった方が良い。オールマイティの居場所がひとつではなく、たくさんあった方が対応できる。
- ・犬山市にある第3の居場所を青少協で把握していくことも大切だと感じる。
- ・研修にあった”傾聴(ただ聞くだけ)”は難しいと思うがすごく大切。自分の職場では傾聴に関する研修もあった。

### (4) 第2回犬山市青少年健全育成市民会議役員会報告

- ・会議録を基に織田委員が内容を報告した。主な内容はおあしす会報56号の検討とおあしす標語審査会と表彰式についてであった。

### (5) 連絡・報告事項、その他

- ・本会議の青少年健全育成市民会議での報告者について(織田委員)
- ・本会議の次回会議の開催予定日は10月13日(火)午前10時から201会議室  
次々回会議の開催予定日は12月10日(木)午前10時から201会議室